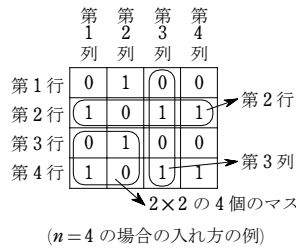


1 [2015 大阪大]

n を 2 以上の整数とする。正方形の形に並んだ $n \times n$ のマスに 0 または 1 のいずれかの数字を入れる。マスは上から第 1 行, 第 2 行, …… , 左から第 1 列, 第 2 列, …… , と数える。数字の入れ方についての次の条件 p を考える。
条件 p : 1 から $n-1$ までのどの整数 i, j についても, 第 i 行, 第 $i+1$ 行と第 j 列, 第 $j+1$ 列とが作る 2×2 の 4 個のマスには 0 と 1 が 2 つずつ入る。



- (1) 条件 p を満たすとき, 第 n 行と第 n 列の少なくとも一方には 0 と 1 が交互に現れることを示せ。
- (2) 条件 p を満たすような数字の入れ方の総数 a_n を求めよ。

2 [2017 東北大]

n, k を $3 \leq k < n$ を満たす整数とする。赤玉が k 個, 青玉が $(n-k)$ 個入った袋から 3 個の玉を無作為に取り出したとき, 取り出した玉のうち 2 個が赤玉, 1 個が青玉となる確率を $p(n, k)$ とする。

- (1) $p(n, k)$ を求めよ。
- (2) n が 3 の倍数で 6 以上とする。 n を固定して k を $3 \leq k < n$ の範囲で動かすとき, $p(n, k)$ の最大値とそのときの k を求めよ。

3 [2015 滋賀医科大]

- (1) さいころを 2 回投げて, 出た目を順に a, b とおく。関数 $f(x) = ax$ について $f(b) = 6$ となる確率を求めよ。
- (2) さいころを 4 回投げて, 出た目を順に a, b, c, d とおく。関数 $f(x) = ax^3 + bx^2 + cx$ について $f(d)$ が素数となる確率を求めよ。
- (3) さいころを 6 回投げて, 出た目を順に a, b, c, d, e, f とおく。2 つの放物線 $y = ax^2 + bx + c, y = dx^2 + ex + f$ がただ 1 つの共有点をもつ確率を求めよ。

4 [2009 和歌山県立医科大]

正方形の頂点を順に A, B, C, D とし, この順を正の向きとし, 逆を負の向きとする。動点 P は常に頂点にあり, 1 秒ごとに次の頂点に移っていく。このとき, 正の向きに次の頂点に移る確率は $\frac{2}{3}$ で, 逆の負の向きに次の頂点に移る確率は $\frac{1}{3}$ とする。また, 動点 P は最初頂点 A にあるものとする。

- (1) 2 秒後に動点 P が頂点 A, C にある確率をそれぞれ求めよ。
- (2) 3 秒後に動点 P が頂点 B, D にある確率をそれぞれ求めよ。
- (3) 4 以上の自然数 n に対して, n 秒後に動点 P が各頂点にある確率をそれぞれ求めよ。

5 [2009 九州大]

k は 2 以上の自然数とする。「1」と書かれたカードが 1 枚, 「2」と書かれたカードが 2 枚, …… , 「 k 」と書かれたカードが k 枚ある。そのうちの偶数が書かれたカードの枚数を M , 奇数が書かれたカードの枚数を N で表す。この $(M+N)$ 枚のカードをよくきって 1 枚を取り出し, そこに書かれた数を記録してもとに戻すという操作を n 回繰り返す。記録された n 個の数の和が偶数となる確率を p_n とする。

- (1) p_1 と p_2 を M, N で表せ。 (2) p_{n+1} を p_n, M, N で表せ。
- (3) $\frac{M-N}{M+N}$ を k で表せ。 (4) p_n を n と k で表せ。

6 [2008 東北大]

点 P が次のルール (A), (B) に従って数直線上を移動するものとする。
(A) 1, 2, 3, 4, 5, 6 の目が同じ割合で出るさいころを振り, 出た目の数を k とする。P の座標 a について, $a > 0$ ならば座標 $a-k$ の点へ移動し, $a < 0$ ならば座標 $a+k$ の点へ移動する。
(B) 原点に移動したら終了し, そうでなければ (A) を繰り返す。

- (1) P の座標が 1, 2, …… , 6 のいずれかであるとき, ちょうど 3 回さいころを振って原点で終了する確率を求めよ。
- (2) P の座標が 1, 2, …… , 6 のいずれかであるとき, ちょうど m 回さいころを振って原点で終了する確率を求めよ。
- (3) P の座標が 8 であるとき, ちょうど n 回さいころを振って原点で終了する確率を求めよ。

7 [2007 名古屋大]

袋の中に赤と黄と青の玉が 1 個ずつ入っている。「この袋から玉を 1 個取り出して戻し, 出た玉と同じ色の玉を袋の中に 1 個追加する」という操作を N 回繰り返した後, 赤の玉が袋の中に m 個ある確率を $p_N(m)$ とする。

- (1) 連比 $p_3(1) : p_3(2) : p_3(3) : p_3(4)$ を求めよ。
- (2) 一般の N に対し $p_N(m)$ ($1 \leq m \leq N+1$) を求めよ。